

## 家庭教育フォーラムより

西宮市教育委員会と西宮市家庭教育振興市民会議は昨年12月3日に市役所東館で「今、家庭教育に求められているもの」をテーマに大阪府立松原高校 教頭 佐谷 力氏を講師に迎えて開催しました。子どもが成長していく過程で、その時にしかできないふれあいがあり、子どもの成長と共に親も成長し続けています。

## 心と時間を使った子どもとのふれあい

子どもとの関わりの中で、保護と干渉の強さとバランスが子どもの成長に大きく影響します。

保護というのは守る・与える・受け入れる等の甘い働きの関わりであり、干渉というのは要求する・期待する・しつける等の厳しい働きの関わりです。

生まれてから成人になるまで、親の保護や干渉は次第に減少していき、子どもが自立していくものです。子どもが思春期になっても幼児のように保護され続けていると自分で考え、自分で選び、自分で苦労して手に入れる姿勢や、人と積極的に関わる力が育ちません。また、狭い価値観や過剰な期待を押し付けられ続けると、成長とともにその期待に十分こたえられなくなった時、自己否定感、自己閉塞感に落ち込んでいくことがあります。外では自分の思いも十分に表現できず、怒りや不安からの攻撃性が家の中で爆発します。結局、親も子どもも苦しむこととなります。

もちろん、幼児期は保護も干渉も大きいのが当たり前です。小さい頃に放任され、親とのふれあいを十分できなかった子は、遊んでほしいとかやさしくしてほしいという思いに共感されないまま育っていきます。共感を与えられないでいると、さびしさから仲間を求め物おじせず人に関わっていく傾向は育つものの、他人の気持ちになって共感する姿勢は育ちません。人の心の痛み、悲しみ、つらさをわかる力が弱くなるのです。その結果、他の子どもや社会に対して攻撃的で思いやりのないわがママを出していくことも多くなります。つまり、共感性の育たなかった子どもは社会に迷惑をかける「人」になってしまうのです。それは、非行や犯罪にもつながるものです。

共感性は親から受けて身につきます。また、親の姿勢を見て学びます。他人に対しても自分に対しても親はどう共感して、どう行動し表現するかを見て育ちます。「危ないよ」と注意していたにもかかわらず、

道で子どもが転んだとします。親が、まず「怪我はなかった?」と聞くか「だから危ないよと言ったでしょ」と叱るので、子どもは別のことを学んでいきます。

子どもに対する保護干渉は、年齢とともに一直線に減少していくものではありません。思春期に入るころまでは親がねばり強く心を使い、思春期には保護干渉を意識して緩めていきます。幼い時に、親からの「大切に思っているよ」という保護と「これをしてはいけないよ」という干渉を十分に与え、成長に合わせて信頼して見守っていく、手放していくということです。それが子育ての大きな流れです。

では、「大切に思っているよ」ということをどう表現すればいいのでしょうか。それは、子どもに物を与えることでなく、親自身が時間と心を使って伝えるべきものなのです。

物質的・金銭的保護は必ずしも子どものためになりません。例えば、「テレビなどの物を子どもに与えることが学習意欲の低下や、労働意欲の低下につながる」ことを分析したアンケートや、低い年齢で携帯電話を与えられた子ほど高校生時の使用頻度(使用料金)が高く、親との会話の時間が少ないという調査結果もあります。安易に豊富に物を手に入れさせることが、子どもの耐える力や労働意欲を低下させるばかりか親子関係の希薄化にもつながっていくのです。

心や時間を使った保護とは、子どもが小さければ例えば「かたぐるま」「ひこうき」などのスキンシップや「絵本読み」「お話し」などです。これは親にとって、子どもを育ててこそできる至宝の楽しみでもありますが、時には煩わしい面倒なこともかもしれません。ただし、それができるのは、ほんの短い間の消費期限付きなのです。しかし、親子のつながりや人間への信頼の基礎を作る大切な関わりなのです。

もちろん思春期に入っても、子どもの心を受け止め、話をじっくり最後まで聴くなどという形で、心と時間を使った関わりは可能です。それが子どもの心を安定させ、前に踏み出すエネルギーの源になるのです。



ユニモアあふれる話しぶり  
になごやかな会場

# 子どもの居場所 エッセイから

あなたの一番好きな場所はどこですか？好きなことはなんですか？

それは自分が一番やさしく、素直になれる場所であり、時間ではないでしょうか。そんな「居場所」は家族や友だちとの関わりの中で生まれ、築きあげられるものだと思います。

「西宮市子どもの居場所づくり推進協議会」では「子どもの居場所」エッセイを募集しました。

“あなたの居場所”は何処ですか？

応募総数616通（小学生部門376通 中高生部門192通 大人部門48通）

最優秀賞の作品を紹介します

## （小学生部門）

### あったかくて...

服部 美緒（香櫨園小学校5年）

私の小さいころ、ずーっとお母さんのおひざに顔を付けて、いつもゴロンとねそべっていました。最初は少しつめたいお母さんのおひざでしたが、ずーっとずーっとそばにいますと、だんだんあたたかくなって、とうとうねてしまいます。お母さんの、そばにいただけでおちついて心がとてもあったかくなります。でも、私は一つまよったことがあります。それは、私とお母さんが、ケンカをしてしまう時があります。その時は、お父さんのそばにいきお父さんのうでの中であぐさめてもらいます。そして、その後お母さんにあやまりました。私のお母さんのおひざは、心と心が分る...へそのおみtainなものです。ずーとはなれない線。お母さんのおひざにいますと、私もねてしまい、ウトウトしているのに、お母さんまで寝てしまうことがあります。その時、私は家のお仕事、会社のお仕事を、いつもいつもがんばってるんだなーあと思っています。お母さんいつもありがとう。

## （中学・高校生部門）

### 私の第三のおばあちゃん

道丹 まなみ（苦楽園中学校2年）

「で、今日はこんなことがあって...。」  
「そう、よかったわねえ。」  
私は毎週金曜日、習字教室に通っている。通い始めて三年目に入り、毎週いろんな字を書いている。その先生はとても優しく、指導力のある先生だ。習字を教えてもらうだけでなく、今日あったことを話したり、時には悩み事も聞いてもらう。私にとって先生は、もう一人のおばあちゃんのような。

夜八時からの教室に参加している生徒は、三人と少なめだ。しーんとしている教室の中で、筆を懸命に動かす音だけが響く。私はこの雰囲気の中、字を書くのがたまらなく好きである。

そして九時十五分頃、教室が終わる。先生の机の前にある椅子に座り、ほっとひと息つく。私の大好きな時間の始まりだ。

「で、今日はこんなことがあって...。」

「そう、よかったわね。」

私は先生のことが大好きだ。

## （大人部門）

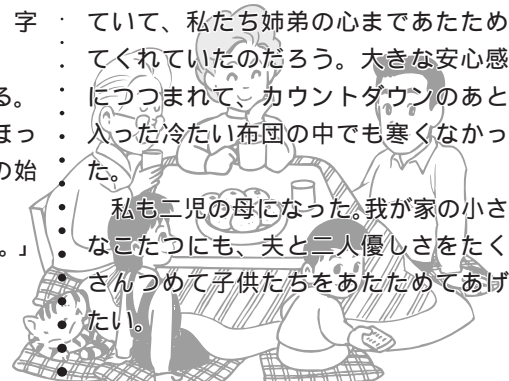
### 小さなこたつ

小田 亜侑実（甲子園九番町）

幼いころ、毎日夜9時に布団に入っていた私と妹、小さな弟が、唯一夜ふかしてできる日があった。それは一年が終わる最後の日、大みそかである。

はんでんを着て、狭いこたつの中で父と母そして三人の子供たちが足をあたたためながら特別番組を見る。一年の反省や、翌年の目標を話し合うわけもなく、ただうとうとしながら家族全員がずぐすこたつはとても心地よく、居心地が良かった。あの頃は、はっきりとはわからなかったけれど、あの小さなこたつには父母の優しさがつまみでいて、私たち姉弟の心まであたためてくれたのだらう。大きな安心感につつまれて、カウントダウンのあとに入った冷たい布団の中でも寒くなかった。

私も二児の母になった。我が家の小さなこたつにも、夫と二人優しさをたくさんつめて子供たちをあたたためてあげたい。



## 講評

（生涯学習コーディネーター 清水 勲夫氏）

昔はのどかな自然のなかに自分の遊び場がありました。今はその環境が大きく変わってきましたが、子どもたちは豊かに、たくましく自分の居場所を探してくれました。

小学生の作品では、家族がそろっての語らいや団らんの場が「居場所」であり、さらに一人の世界を楽しむ自分の部屋、お風呂、布団の中などを居場所としています。今を楽しめる場所であり心地よさを満喫しているようです。

そして、おじいちゃん、おばあちゃんとの関わりやふれあいのなかでゆったりさ、のんびりさが子どもたちは心地いいと感じているようです。

中高生になると気付き、着眼の感性が豊かになって心の世界の広がりを感じました。自分の思った世界でいるんなことをイメージし、そんな中で自分と向き合っている所が少し大人に近づいているように感じました。そして、ここにもおじいちゃん、おばあちゃんとの関わりがあって心が



落ち着く場所、和む場所となっているようです。観察が個性的で鋭くなり、豊かな感性を気付かせてくれました。

大人はこどもの頃の思い出が主になっているようです。居場所とは心の原風景のようなもので、懐かしい故郷への思いや自然とのふれあいのなかに居場所が多くありました。

こたつを囲んで過ごす年越しはごく平凡な風景ですが、家族の暖かさが伝わってきます。

心の落ち着ける場所、心地よく元気の出る場所として今の居場所を大事にさせていただき、お互いの居場所を大事にすることはお互いの命を大切することだと思います。

家庭は落ち着いて養育をし、生活のルールやマナーの基本を学ぶ所。学校は社会に出るための教育をする所。地域は育成をする所。子どもたちが地域の子どもになるためには大人が地域の大人にならなくてははいけません。子どもたちの成長に皆が関心を持たないとその環境は作れません。自分さえ良ければ、わが子さえ良ければと思う心が子どもたちの居場所を結局、失わせていくのではないかと思います。

# きつず情報局

卒業 巣立ち 入学 出会い…… 新しいものを見つけよう！

## 酒ミュージアム（白鹿記念酒造博物館）

問合せ：〒662-0926 西宮市鞍掛町8-21

TEL 0798-33-0008

URL <http://www.hakushika.co.jp/museum/index.htm>

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日休館）

入館料：一般500円 小・中学生250円

（ココロンカード提示で無料）

### 笹部新太郎とさくらコレクション

91年の生涯の大半を山桜や里桜などの保護・育成に捧げた笹部翁。今回はその「櫻癡」ぶりを紹介します。

日 時：3月21日（火祝）～5月8日（月）

## 世界の貯金箱博物館

問合せ：〒660-0863 尼崎市西本町北通3丁目93

TEL 06-6413-1163

URL <http://www.amashin.co.jp>

開館時間：10:00～16:00

休館日：日・月曜日 祝日

入館料：無料



貯金箱って家の中にひとつはありますね。世界60カ国約12,000点に及ぶコレクションの中から約2,500点を常設展示しています。貯金箱のルーツは2100年前中国雲南省の王一族の墓から出土されヨーロッパでは紀元前300年頃の貯金箱が発見されたそうです。貯金箱の歴史を覗いてみませんか。

特別展「仰天！世界の銀行物貯金箱展」

日 時：3月1日（水）～3月31日（金）

## 神戸らんぷミュージアム

問合せ：〒650-0034 神戸市中央区京町80

TEL 078-333-5310

URL <http://www.kobe-lamp.com/>

開館時間：10:00～17:00（入館は16:00まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料：大人400円 小人200円

（ココロンカード、のびのびパスポート提示で無料）

あかりはかかり火から行灯、ランプへと変化し電気のあかりへと受け継がれています。約1,100点のコレクションを通じて灯火器の変遷を楽しみながら歴史を探ってみましょう。

企画展「時代を映すマッチラベル」

～大正・昭和の広告マッチと趣味のマッチラベル～

日 時：3月14日（火）～4月16日（日）

## 日本民家集落博物館

問合せ：〒561-0873 豊中市服部緑地1-2

TEL 06-6862-3137

URL <http://www.occh.or.jp/minka/>

開館時間：10:00～17:00（3～10月入館は閉館30分前）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料：大人500円 高校生300円 小・中学生200円

昭和31年に日本各地の代表的な民家を移築復元し、関連民具と合わせて展示され日本で最初の野外博物館です。北は岩手県から南は奄美大島まで12棟を集めています。各地方の自然を活かし、調和を図りながら生活してきた人々の知恵が随所に見られます。

民家の囲炉裏で暖まろう

日 時：3月26日（日）までの土・日・祝

場 所：南部の曲家

石臼体験

大豆をひいてきな粉を作ります。いつでもできますが、次の日時には指導者が体験指導を行います。

日 時：3月5日～25日の各日曜日 13:30～15:30

材料費：100円



## 大阪市立科学館

問合せ：〒530-0005 大阪市北区中之島4丁目2-1

TEL 06-6444-5656

URL <http://www.sci-museum.jp>

開館時間：9:30～16:45（券売は16:00まで）

休館日：月曜日（祝日は開館）

祝日の翌日（土日祝日の場合は開館）

オムニマックス映画観覧料：大人600円 高・大学生450円

小学生以下300円

オムニマックス映画「スリルライド - 体感! 絶叫マシン -」

本当にジェットコースターに乗っているかのような大迫力。実際の映像やCGを通して、絶叫マシンの秘密を解き明します。

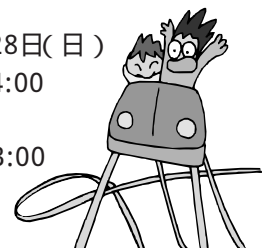
日 時：3月1日（水）～5月28日（日）

平日（火）～（金）：12:00 14:00

16:00

土日祝春休み：11:00 13:00

15:00



### 宝塚市立手塚治虫記念館

問合せ：〒665-0844 宝塚市武庫川町7-65

TEL 0797-81-2970

URL <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/tezuka/index.htm>

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日：水曜日(祝日 8月を除く)

入館料：大人500円 中・高生300円 小学生100円

(のびのびパスポート提示で無料)

#### アニメ制作体験

アニメづくりに挑戦!

所要時間：1回40分 定員：1回14人

### マリンピア神戸さかなの学校

問合せ：〒655-0036 神戸市垂水区海岸通12-4

TEL 078-706-5550

URL <http://www.kansai.ne.jp/marinpia/>

開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：水曜日(祝日の場合は翌日)

#### 塩づくり体験

作った塩で真鯛の塩焼きをつくろう

日時：4月22日(土)

参加費：600円 定員：48名

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

申込み：4月7日(金)必着 往復はがきまたはFAX  
(FAX 078-706-5636)

#### 工作づくりも開催します

§春休みの工作づくり

3月18日(土)～4月6日(木)

§子どもの日工作づくり

4月7日(金)・5月5日(金祝)



### 兵庫県立フラワーセンター

問合せ：〒679-0187 加西市豊倉町飯森1282-1

TEL 0790-47-1182

URL <http://www.flower-center.pref.hyogo.jp>

開館時間：9:00～17:00(入園は16:00まで)

休園日：水曜日(祝日の場合は翌日休園)

ただし、3/4～5/9は無休

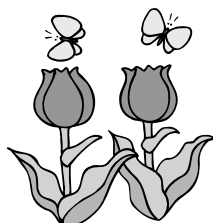
入園料：大人500円 中・高生300円 小学生150円

(ココロカード提示で無料)

#### オランダ衣装試着体験

チューリップを背景に民族衣装を着てオランダ気分

日時：3月4日(土)～4月23日(日)の土日祝



### 神戸市立六甲山牧場

問合せ：〒657-0101 神戸市灘区六甲山町中一里山1-1

TEL 078-891-0280

URL <http://rokkosan.net/>

開場時間：9:00～17:00

4～11月の土日祝、夏休み期間は～18:00

夏休み期間の土日祝は～19:00

(入場は閉場の30分前まで)

定休日：火曜日(祝日は順延、4～11月無休)

入場料：大人500円 小中学生200円

(のびのびパスポート提示で無料)

#### まきば体験

牧場ならではの体験をしてみよう!

バターづくり

アイスクリームづくり

時間：10:00～13:00～15:00～

費用：800円 定員：各回45名

羊毛でマスコットづくり

日時：3～11月の土日祝 10:00～16:00

費用：800円 定員：25名

スプリングフェアも開催します。

3月21日(火祝)～



### キッズプラザ大阪

問合せ：〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7

TEL 06-6311-6601

URL <http://www.kidsplaza.or.jp>

開館時間：9:30～17:00(土日祝～19:00)

券売は閉館45分前まで

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料：大人1,200円 小・中学生600円

幼児(3歳以上)300円

#### 織りもの工場

みんなで力をあわせて長いタピストリーを織ったりコースターなどを作ることができます。

日時：3月28日(火)～31日(金)

10:30～12:00 13:00～16:00

対象：小学生～中学生

#### ギャラクシースコープ鏡の宇宙をつくろう!

鏡を使って牛乳パックの中に自分だけの宇宙をつくってみよう!

日時：～5月14日(日)毎週土日祝

11:00～12:00・15:00～16:00

対象：小学生～中学生

定員：各回20名

